

より良いかたちにつながる再編 を実現するために どのように複合化を活用 していくのか

- ☑ 目指す姿
- ☑ 市民が重要と考える要素
- ☑ 複合化の利点と課題

町田市の
公共施設再編における
複合化のあり方

町田市は2016年3月に策定した「町田市公共施設等総合管理（基本計画）」にて、今後の公共施設等の総合的かつ計画的な管理において、「複合化」を進めていくことを方針に掲げている。将来の目指す姿、市民がより良いかたちを実現するにあたって重要だと考える要素、複合化という手法の利点と課題を踏まえ、どのような複合化を目指すのかを検討する。

複合化の一般的な利点・課題

利点 効果

- 共用化による経費の削減（規模圧縮・管理の効率化等）
- サービスや価値の向上（1か所で多様なサービス、サービスの連携・融合による付加価値）

課題

- サービス又はサービス利用者の特性、セキュリティ等に配慮したゾーニング、動線等の設定等、施設面や運営面での配慮・工夫
- サービス同士の相乗効果を生むためのハード・ソフト両面からの工夫・仕組みづくり

- ×ただの合築
- ×使い勝手が悪くなった
- ×セキュリティが不安
- ×管理が煩雑

etc

複合化

新たな
価値・サービスを
生み出す

ゆるやかに
みんながつながる
心地良い
コミュニティ



多用途・多目的・多世代

みんなの施設

サービスに見合ったコスト

サービスを受けたり、
自分たちも提供したり



誰にとっても開放的である

集まりたくなるような温かさがある



「より良いかたち」につながる複合化 を考える

多くの人は公共施設を「まず利用しない」。複合化により、「より良いかたち」を実現するためには、まずより多くの人に利用してもらえらる場にすることが重要。
市民アンケートによると、世代や利用状況を問わず「気軽に立ち寄れる」場が求められている。

より良いかたち

- ① 新たな価値・サービスを生み出す
- ② ゆるやかにみんながつながる心地良いコミュニティ

複合化

複合化により

- **誰もが気軽に利用できるオープンな空間づくり**
- **自然と交流が生まれ利用者の活動・行動の連鎖を引き起こすしくみづくり** を行う

多くの人が利用する



活動やサービスが広がる

〔誰もが気軽に立ち寄れる場〕×〔活動・行動の連鎖〕を実現する複合化を行うためのポイント

- **活動やニーズの違いに応じた緩やかなエリアの区分を設定しつつも、ひとや活動が「見える」「感じられる」**設えや配置を工夫することにより、**利用者の活動・行動の広がり**を誘引する。
↳ **多様な人・多様な活動の視認性**を高めることは、**空間自体の入りやすさ**にもつながる。
- 機能の**特徴を活かした良い相乗効果**を生む設えや配置を行い、合わせてイベントや企画等、ソフト的にも**機能同士をリンクするきっかけづくり**を効果的に行うことで**新たな交流や付加価値の創造**につなげる。
- **日常的で身近な機能、賑わい**を生み出す機能、**効率的・効果的な場の管理運営**のためには、**民間との連携**がより重要となる。
例) 飲食(カフェ)等の公共サービス以外の機能と、総合的な企画や管理運営

多くの人が利用 = 気軽に利用できる

オープンな空間
多様な人×多様な活動が見える
日常的な機能など身近な空間とのつながり



活動やサービスの広がり

利用シーン等に合わせた機能のつながりを意識した配置
+ ソフト的なしかけ

open

物理的開放性
+
心理的開放性

視認性・流動性の高さ
柔軟性・多様性のある空間
民間機能との共存

※必要に応じてクローズの空間を設けることを否定するものではない。
要は使い方や活動を支えるデザイン（お互いの特徴を活かし良い相乗効果を生む配置）を意識的に
行っていこう、というもの。